

お禮を後いしきる
 子に過はる金に
 後事をかゝるお故
 紅毛の土紙抄
 漸くも版はる一本
 是を大に送呈は
 するに可き重
 なるは純上の一冊
 しては批評より
 相承用をいふは
 人知れず
 此より見

明治廿八年

月 日

東京市日本橋區本町三丁目

博文館

電話

營業用 本局 三三三番
 編輯用 本局 三三三番
 本局 三三三番